

決算報告書

平成29年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,460	5,444	△ 16	(注1)
施設整備費補助金	254	484	230	(注2)
補助金等収入	60	197	137	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	23	23	-	
自己収入	20,897	22,070	1,173	
授業料, 入学料及び検定料収入	667	664	△ 3	
附属病院収入	19,897	21,045	1,148	(注4)
雑収入	334	361	27	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	803	904	101	(注6)
長期借入金収入	318	658	340	(注7)
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	501	501	(注8)
目的積立金取崩	-	66	66	(注9)
計	27,815	30,347	2,532	
支出				
業務費	25,011	26,006	996	(注10)
教育研究経費	4,527	5,243	716	
診療経費	20,484	20,763	279	
施設整備費	594	1,165	571	(注11)
補助金等	60	197	137	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	803	748	△ 55	(注13)
長期借入金償還金	1,347	1,345	△ 2	(注14)
計	27,815	29,462	1,647	
収入-支出	-	885	885	

※端数処理の関係上、合計額が一致しない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当支給が当初予定より少額であったことにより、予算額に比して決算額が16百万円少額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、実験実習機器センター改修工事業を前年度から繰越したことなどにより、予算額に比して決算額が230百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、平成28年度補正事業として交付された設備整備費補助金が平成29年度に繰越になったこと、各種補助金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が137百万円多額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、患者数の増加、高額な注射薬や内服薬を使用した治療の増加、手術件数の増加により、予算額に比して決算額が1,148百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、貸付金回収金の増等により、予算額に比して決算額が27百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して101百万円多額となっております。
- (注7) 長期借入金収入については、平成28年度補正事業の核医学診断システム整備事業を前年度から繰越したことなどにより、予算額に比して決算額が340百万円多額となっております。
- (注8) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、目的に沿って附属病院設備の整備等に充てたことにより、予算額に比して決算額が501百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、目的に沿って研究環境整備に充てたことにより、予算額に比して決算額が66百万円多額となっております。
- (注10) 業務費については、実験実習機器センター改修工事費の増、附属病院収入増加に伴う医薬品費の執行増、医療機器の更新等により予算額に比して996百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費補助金については、(注2)及び(注7)と同様の理由により、予算額に比して決算額が571百万円多額となっております。
- (注12) 補助金等については、(注3)と同様の理由により、予算額に比して決算額が137百万円多額となっております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として産学連携等研究経費において支出額が減少したことにより、予算額に比して決算額が55百万円少額となっております。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入利率の見直しによる利息支出の減少のため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。